

佐野短期大学シラバス2013

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
起業家教育Ⅱ Entrepreneur EducationⅡ		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態		授業の性格	
1単位	演習		選択	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
起業演習、経営学Ⅰ・Ⅱ、ビジネス実務総論Ⅰ・Ⅱ、ビジネス実務演習Ⅰ・Ⅱ、秘書学、金融と証券、ファイナンシャルプランナーⅠ・Ⅱ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
経営学Ⅱ、ビジネス実務総論Ⅱ、ビジネス実務演習Ⅱ、ファイナンシャルプランナーⅡ				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
國分三郎		本館 2 F	水曜日 13:00～14:00	授業中に指示します
授業の概要				
H25年度以降の入学者を対象にする。本講座は、これ自体で完結する講座であるが、内容からして履修者は起業家教育Ⅰを履修していることが望ましい。本講座は起業家教育Ⅰで開発した商品を秋の文化祭(みかも祭)で販売し、起業活動の成果の分析が中心となる。その際、販売活動、決算書の作成や利益の分配といった実践的な学習が中心となる。その後、起業活動の理解を深めるために、DVDなどを通して、我が国の新進気鋭な起業家・経営者を研究する。				
授業の到達目標				
①モノを売ることの困難性と喜びを学びを知り、販売活動をとおして自己の特性を認識することができるようにする。 ②チャレンジ精神やコミュニケーション能力を自らの力で涵養することができるようにする。 ③さまざまな職務の体験を通じて自分のキャリア形成を考えることができるようにする。 ④経営活動における決算の意義を理解することができるようにする。				
授業の方法				
演習				
学習の成果				
①キャリア形成における、自分の方向性(営業・販売が含まれているかどうか)を自覚して説明することができる。 ②決算の意義や経営分析の基礎を理解し説明することができる。 ③一連の起業活動を通して、チャレンジ精神やコミュニケーション能力を身に付け、それを具体的に表現することができる。 ④食品製造業にける業務内容を理解して説明することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	はじめに(シラバスの説明、講義の狙いと進め方、成績評価の説明、受講の態度の説明)			
第2回目	ビジネスプランの確認(商品、価格、目標売上高、目標利益の検討)			
第3回目	宣伝戦略(メディアの検討、ポスターの検討)			
第4回目	仕入・販売戦略			
第5回目	店舗設立準備(衛生管理の確認、製造現場の確認、会計・現金の準備、売上表の準備、材料の仕入れ)			
第6回目	食品製造・販売活動、みかも祭初日(衛生管理の確認、顧客の反応(価格、味、風袋)、顧客の呼び込み、クレーム処理)			

第7回目	食品製造・販売活動、みかも祭 2 日目（衛生管理の確認、顧客の反応（価格、味、風袋）、顧客の呼び込み、クレーム処理）	
第8回目	店舗の解体と後かたづけ	
第9回目	販売活動の反省（企業として、職務として、個人として）	
第10回目	現金の管理と収支計算書の作成	
第11回目	貸借対照表、損益計算書の作成	
第12回目	販売活動の分析と評価（食品製造業の経営指標と対比して）	
第13回目	利益の処分と社会貢献（国境のない医師団、国連難民高等弁務官事務所、3. 11の被災者支援）	
第14回目	我が国食品業界における起業家・経営者の研究	
第15回目	おわりに（起業家教育の総括：食品製造業の起業から、発表とレポートの作成）	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	50%	最高水準（S）としては、無遅刻無欠席無早退。自分の役割上の責任を全うしながら他のメンバーと積極的に協力し合うこと。
レポート	40%	最高水準（S）としては企業の全体的視点から自分が担当する職務の内容を客観的にとらえ、課題点や反省点を含めて記述すること。
調査報告書		
小テスト		
中間・学期末試験		
発表内容（態度含む）	10%	最高水準（S）としては、発表の内容が自分のキャリア形成における本講座の意義について触れていること。
その他		
教科書と参考図書		
教科書は使用しない。授業のたびに必要資料を配布して、それをもとに授業する。		
履修上の心得・ルール		
実習科目のため出欠状況を重視する。無断欠席は減点の対象である。遅刻 3 回で欠席 1 回分とする。自分の役割に責任を持つこと。		